

ダイバーシティ事業国際人事交流 プログラム派遣報告

University of Cambridge, MRC Cognition and Brain Sciences Unit
受け入れ教員：Matt Lambon Ralph教授
2020/2/18～2020/3/19



保健学研究科
林 敦子

女性教員比率

- ・プログラムリーダー（教授相当）数（14人）
うち女性プログラムリーダー数（2人）
（14.3%）
- ・リサーチスタッフ数（58人）うち女性リサーチスタッフ数（32人）（55.2%）
- ・リサーチフェロー（12人）
うち女性リサーチフェロー
数（10人）（83.3%）



Equality & Diversity committeeの取り組み

- ・スタッフや院生からなる。
- ・E&Dウェブページ
- ・E&Dイベント
 - お昼のヨガクラス
 - チャリティイベント
 - クリスマスパーティー
 - 無料のコーヒーとハーブティー提供
（10：30と15：45）など
- 授乳・礼拝室、男女兼用トイレ
（おむつ交換台あり）の設置、
- チャウサーケアーズクラブ（非公式の
サポートネットワーク：子供を育てながら
のキャリア、子供の行動管理、高齢者の
両親の世話などについてアイデアを交換
するためのミーティングが行われる）など。



Equality & Diversity committeeの取り組み

- ・Chaucer club（週1回の講演）での講演者は男性が多かったが、
2009年以降およそ男女同数となっている。多くのスタッフ、院
生が会議に参加できるように可能な場合はコア時間の9:30から
15:30の間に開催。

- ・CBU BrainBus（今年度の取り組み）
恵まれない子供たちに重要なアウト
リーチ体験を提供。多様な神経科学者
と目的に合わせたインタラクティブな
神経科学に関する活動を小学校の教室
で行う。



研究交流について

CBUのディレクターであるMatt Lambon Ralph教授のLanguage Groupを訪問した。

- ・現在行っている研究内容（アルツハイマー病のメタ記憶研究、進行性失語の症例研究）についてディスカッション。
- ・リサーチスタッフ、ポスドク、博士課程の大学院生の研究発表・説明についてディスカッション

- ・Language Groupのミーティング（週1回）
- ・ランチタイムセミナー（〃）
- ・CBUや外部講師によるChaucer club（〃）などへの参加。



研究交流について

- ・ James Rowe教授のAddenbrooke's Hospitalにおける前頭側頭型認知症外来診察の見学（週に1回）

患者の診察、家族の相談に臨席。診察後の症例検討会

- ・ 病院診察見学時には、CBUの名誉会員であるKaralyn Patterson先生にも患者の診察、症状について教えていただき、進行性失語の症例研究について討論を行った。

